

令和5年度第12回合同教育研究会議議事概要

1 開催日時

令和6年3月27日 13時00分～13時52分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長兼副学長事務取扱、亀田副学長兼研究・地域連携本部長、宮野副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長兼高等教育推進センター長職務代理者兼教学IRセンター長職務代理者、三上学生支援本部長、橋本企画本部長、熊本国際教育研究部長、福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、高田ソフトウェア情報学部長、T e e 総合政策学部教授（高嶋総合政策学部長代理）、川崎盛岡短期大学部長、長坂生活科学科長、伊藤国際文化学科長、大志田宮古短期大学部長職務代理者兼経営情報学科長、宮本委員（学外委員：岩手大学人文社会科学部教授）

[事務局]

西川総務財務課長（新沼事務局次長兼総務室長代理）、関屋教育支援室長、高田学生支援室長、藤村研究・地域連携室長、佐藤企画室長、長谷川宮古事務局長、八木主幹

4 会議の概要

議事録確認

前回会議3月13日の議事録（議事概要）については、原案のとおり承認された。

審議事項

- (1) 学士課程教育に係る全学カリキュラム・ポリシーの改定について
猪股高等教育推進センター長職務代理者から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。
- (2) 各学部カリキュラム・ポリシーの改正について
猪股高等教育推進センター長職務代理者から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。
- (3) 各学部等アセスメント・ポリシーの改正について
猪股高等教育推進センター長職務代理者から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり承認された。
学長から、学修成果を可視化し最終的には社会に公表する取組であり、現在は、カリキュラム・ポリシーとアセスメント・ポリシー双方をチェックし、アップグレードさせていく段階であるため現状がしばらく続くと思われるが、各学部で取り組んでほしいとの発言があった。

協議事項

- (1) 岩手県立大学広報戦略の策定について
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

協議の結果、原案のとおり承認された。

学長から、目的を定めた上で、各学部でまとめているデータ等の情報を一か所に集約し、全学広報に活用することが望ましいとの発言があり、橋本企画本部長から、可能な限り作業を増やさず効果的に広報活動を行いたいと考えており、具体的な手法等は検討の余地があると考えているとの発言があった。

報告事項（口頭報告）

- (1) 公立大学法人岩手県立大学授業料等の納付方法及び減免に関する規程の改正について
三上学生支援本部長及び高田学生支援室長から、資料に基づき説明があった。
- (2) 令和6年度からの奨学金制度の改正に伴う本学の対応について
三上学生支援本部長及び高田学生支援室長から、資料に基づき説明があった。
- (3) 各種学生アンケート自由記述意見への対応状況について
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。
- (4) 令和6年度情報システム整備事業について
橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。
- (5) 令和6年4月以降の副学長、学部長及び学科長等の予定者について
鈴木学長から、机上配付された資料に基づき説明があった。公表は近日中を予定しているが、それまでの間の情報の取り扱いに注意するよう補足説明があった。
鈴木学長から、次年度に就任予定の学外委員について、情報提供があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和6年度入学式（滝沢キャンパス）の実施概要について
- (2) 令和5年度「岩手県立大学学生ライフサポートプロジェクト」の実施結果について
- (3) 令和5年度合同企業等説明会の開催結果について
- (4) 岩手県立大学データサイエンス・リカレント講座専門科目の開催結果について
- (5) 令和5年度に出展した展示会について

委員から、資料報告の「(3) 令和5年度合同企業等説明会の開催結果について」について、多くの学生が参加し、複数ブースに関心を持っている様子が確認でき、大変良いことである一方、不参加の学生がいるということも確認できる。現状では、就職活動に乗り遅れる学生や、偏った情報に影響される学生もいること、親が内定先に強く反対するという例もあることから、今後、大学のキャリア支援は重要性を増すと考えている。企業説明会に留まらず、働くことの意味、地元企業の存在意義、就職条件・業種・福利厚生等の見方を含む、キャリア教育が必要だと考えられる。他大学の例として、令和6年度から、高校から大学の転換教育として配置する科目内で、キャリア教育（1～2コマ）を盛り込む試行を開始する。初年次から卒業後の就職までつながるキャリア意識形成が大事だと考えるとの意見があった。

三上学生支援本部長から、合同企業説明会の参加者は昨年度よりは若干増加しているものの、全学生が参加しているという現状にはないため、学部の就職支援委員会と連携を取りながら、他大学の事例を参考にさせていただき、学生の自己実現のため

の支援を行っていくとの発言があった。

その他

佐藤企画室長から、ファクトブックを机上配付している旨、説明があった。